



社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

2023年
1月1日
新年特大号



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉法人清風会および東かなまち桜園に対しまして、ご入居者様、シヨートステイ利用者様、ご家族様、並びに地域の皆様から、温かいご支援とご協力を賜り、無事新年を迎えられましたことを心より厚くお礼申し上げます。

おかげさまで当施設も今年4月で開設から十周年を迎えます。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝いたしております。職員一同初心に戻り、一層努力してまいる所存でございます。今後とも、なにとぞご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、わが国では、新型コロナウイルスへの対応と社会経済活動との両立をより強固なものとしたウィズコロナに向けた新たな段階に移行しているところではございますが、ご入居者様が感染した場合の重症化リスクが高いことおよび受け入れ医療機関がほぼゼロに等しいこと、職員が感染または濃厚接触者となった際の自宅待機による業務ひっ迫等の事情から、当面はご面会や外出等の制限を

継続する方針でございます。ご入居者様、ご家族の皆様には、ご不便やお寂しい思いをおかけしまして、誠に心苦しいのですが、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支である「癸卯（みずのとう）」は、「これまでの努力が実を結び、勢い良く成長し飛躍するような年」になるそうです。これまでの新型コロナウイルスへの対策やワクチン接種が功を奏し、飛躍的に新型コロナウイルス感染症が収束することを期待したいと思っております。

今年一年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう祈念いたしますとともに、年始のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人清風会

特別養護老人ホーム東かなまち桜園

施設長 山岡寿



事務長 仲矢紀親



東かなまち桜園にご入居の皆様、ご利用の皆様、並びにご家族の皆様、『新年あけましておめでとう』ございます。本年が皆様にとって良い年となりますよう心よりお祈りいたします』

私は、昨年十月一日より当施設の事務長として、福岡より赴任して参りました。平成七年に、運営法人である社会福祉法人清風会に入職し、老人保健施設に約二十三年間、法人本部に約四年間勤務いたしました。

出身は、九州の熊本県熊本市で、今回の転勤で、初めて九州を出て、独身時代以来の一人暮らしをすることとなりました。施設がある葛飾区東金町は、イメージしていた大都会東京とは少し（？）違っていました。近年は、金町駅周辺の再開発や大学の進出で発展が著しく、今後さらなる発展が見込まれる地域です。

そんな中でも、下町の情緒が残り、暮らしやすい地域ですので、田舎者の私でも、どうにか生活に慣れることができていると思います。

事務長職は、老健施設に在職中、六年ほど経験しておりますが、特養との違いや数年のプランクもあり、慣れるまでもう少し時間がかかりそうです。

当施設は法人の中で最も規模が大きく、職員数が多い施設となりますので事務管理業務も多く、戸惑うことばかりですが、一つ一つの仕事を着実にやって行きたいと思っております。

令和五年四月に、当施設は、開設十周年を迎えます。この十年間で、ご入居、ご利用いただいた皆様、関わっていただいたご家族や地域の皆様には心より感謝申し上げます。

十年前、私も東かなまち桜園の落成式に出席いたしました。保育園と合築した施設を見学し、本当に素晴らしい施設だと感じ、同じ法人の職員ですが、うらやましくも思いました。

施設も十年経って、老朽箇所が目立ち始めていますので、日頃のメンテナンスや補修などが一層必要となつてきていますが、ご入居の皆様が過ごしやすい、職員の皆さんが働きやすい環境づくりに努めてまいります。

コロナ禍の中で、この三年余りの間、面会や外出の制限で、ご入居及びご家族の皆様には大変不自由で寂しい思いをさせてしまっておりますが、施設内での感染を防止するため、ご理解とご協力を、もうしばらくの間お願いいたします。

今年一年で、感染症が収まり、東かなまち桜園に、にぎやかな声があふれることを期待したいと思います。



地域連携室長 鈴木 茂

謹んで新春をお祝い申し上げます。

私も、事務長・介護課長と同じ時期に福岡の特別養護老人ホーム洸寿園から赴任しました。と言うよりは、令和三年一月十五日まで在籍していましたので、戻りました。が正しいかもしれません。

私自身、埼玉で生まれ育って生活していましたが、埼玉以外の生活に不安はありましたが、福岡での生活に慣れて行動制限も緩和され、少しずつ九州巡りを行おうと思っていた矢先に戻ることになりました。

洸寿園は従来型の特別養護老人ホームで、歴史も長く学ぶ点が多くありました。全てを学べてはいませんが、桜園で活かせたらと思っています。

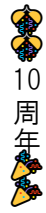
令和四年は国際情勢も国内情勢も、まさに激動といえる一年間でした。様々な食料品の度重なる値上げ！電気、ガス、ガソリンや紙製品、家電製品などの生活全般品も値上げ！この値上げラッシュはまだ続くのではないかと言われています。

このような状況の中で、あまりメディアで話題にならないのが三年に一度の介護保険の改正についてです。

令和五年は改正の年ではありませんが、次の改正は令和六年四月に行われます。そこに向けての議論が既に昨年から行われています。

ここでも65歳以上の高所得者の介護保険料の引き上げや2割負担・3割負担の対象者拡大、ケアプランの有料化など値上げに関する話が行われているようです。今年中には具体的な発表があると思います。今後、負担する金額が増加することは避けられない状況になりそうです。

話題を桜園に戻すと、4月1日で開設



11年目に入ります。

これからも地域に根差した、選ばれる施設となるよう職員一人一人頑張っていくと思いますので宜しくお願い致します。最後に昨年行った行事等の写真(僅かですが・・・)をご覧ください♡♡



介護課長 戸崎隆洋

東かなまち桜園へご入居、ご利用の皆様、並びにご家族の皆様、『新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって良い年となりますように心よりお祈りいたします』

私は、同法人が福岡市で運営する老人保健施設より昨年の十月一日付けで桜園に赴任してきました。

老人保健施設では自宅や住み慣れた地域での生活が困難になった方に対して医師、看護職員、介護職員、作業療法士、理学療法士、管理栄養士、支援相談員等の専門職がチームを組み、自宅や地域に帰っていただく在宅療養支援を行っていました。

二十年程、医療、看護、リハビリ、地域との連携に携わり様々なことを経験してきました。

今回、ユニット型の特別養護老人ホームでユニットケアを展開する施設で勤務することは初めてであり、毎日が新鮮で戸惑うことも多くあります。

桜園では、これまで一人一人が大切にしてきた生活習慣、住みやすく安心できる住環境が入居後も継続できるように各専門職が連携して日々のケアに取り組んでいること。

入居者のプライバシーが守られ、自分だけの空間(家・居室)、時間がゆっくりやすく気持ち穏やかに過ごしやすい環境があること。

毎食、ユニットのキッチンで食材を温め、それぞれの入居者に合わせた陶器の器に食事が盛り付けられる。

状況に合わせて、お酒や漬物など、今までの暮らしで飲んでいた、食べていたものが継続できること。

施設生活になると、諦めないといけない事が継続できる。ほんとに素晴らしい事だと思っています。

また、それぞれの入居者の生活様式を入居者と共に暮らしていくことで理解、把握して支援につなげていくユニットで働くスタッフさん、大変かと思えます。私も微力ながら少しでもお手伝いできればと思います。

まだ、三カ月程ほどしか働いていませんが、ここでしか気づけないこと、学びが多くあると感じています。

令和六年三月までの赴任期間ではありませんがたくさんのことを吸収、成長して福岡に戻りたいと思っています。

